

山口県海外ビジネスサポートデスク 通信

12月号

FROM マレーシア

今月のデスク活動

山口県知事にシンガポールへ訪問頂きました！

11月12日に山口県村岡知事と県議会議員の皆様が、シンガポールへの訪問の際、「山口県海外ビジネスサポートデスク」にもお立ち寄り頂きました！

サポートデスクを代表してシンガポールの関が、コロナ禍での経済状況の変動やシンガポールへの日本企業の進出状況をはじめ、サポートデスクとしての役割までお話をさせて頂きました。実際にご支援している企業様のサンプルを見て頂いたり、短い時間でしたが、しっかりとサポートデスク及び、デスク環境をご覧頂きました。企業の皆様もシンガポールへご出張の際には是非お立ち寄りくださいませ！



個別相談を引き続きお受けしております！

たくさんの企業様にご相談のお申し込みを頂いております。ご相談内容に合わせて個別面談を実施しております。今回も、商談を希望された企業様のケースをシェアいたします！

釣り具メーカー様 「東南アジアへの販路拡大に向け市場を知りたい！」

⇒利用メニュー 市場調査

レジャー、釣り具関連の製品を製造されるメーカー様が海外への展開にあたり、対象とする国を定める為にも、釣り業界について知りたいとご依頼を頂きました。

サポートデスクでは、対象の5か国・地域(シンガポール、台湾、タイ、マレーシア、ベトナム)全てで釣り業界の市場性、現地プレーヤー、イベント等を調査いたしました(一部地域では継続して調査中)。今後、販路拡大を狙う市場についてレポートを活用して頂きながら、デスクでサポートして参ります！デスクでは現地在住のリサーチャーが現地語で情報収集し、日本語のレポートに纏め情報提供が可能です。是非、お気軽にご相談ください。

(文責：株式会社日本アシスト 佐藤)

現地からお届け！ 最旬情報 -マレーシア編-

新型コロナの影響で渡航が出来ず、現地の生の情報がリアルタイムで入って来ることが難しくなっていました。そんな皆さまの為、毎月各国の「旬」な情報を現地からお届けいたします！

第5回は2回目の登場、マレーシアデスクよりお届け。コロナにより何が変わった？これからどうなるの？そんな疑問にお答えします。



マレーシアの消費市場

第10代首相にアンワル氏が就任

マレーシア国民にとって、11月は落ち着かない日々を過ごした方も多かったと思います。11月19日に投開票が行われた総選挙がありましたが、主要政党連合がいずれも単独過半数の議席数に届かなかったため、開票後5日間にわたり連立樹立に向けた激しい交渉が続いていました。「だれが首相になるの？」この話題で持ちきりでした。それから国民のもう一つの関心事は「選挙後に祝日になるの？」でした。

最終的に、最大の得票数を獲得した政党連合・希望連盟のアンワル・イブラヒム元副首相が、第10代首相に任命され、新政権の発足に伴い、11月28日を国民の休日にする事が宣言されて、ようやくひと段落つきました。

買い物客や旅行者で賑わいが戻るクアラルンプール

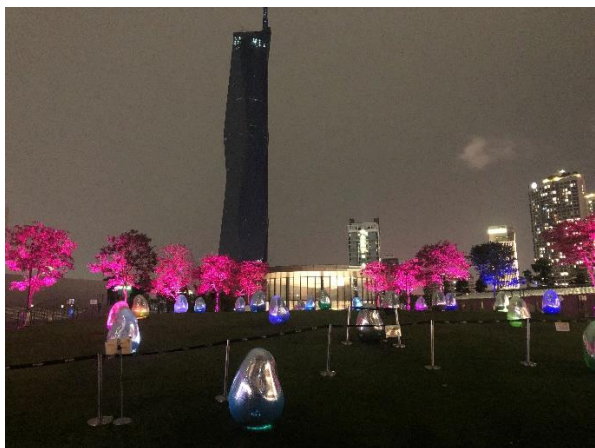
クアラルンプールの街やショッピングモールには買い物客が戻り、ツインタワーやモスクなどの観光地には外国人と見られる旅行者も戻ってきています。コロナ前に見慣れた光景が戻ってきています。日本の商品を扱う伊勢丹、らぼーと、DON DON DONKI、業務スーパーなどにも週末ともなると大勢のマレーシアの方々が足を運んでいる様子が見られます。

2022年1月クアラルンプールにオープンした LaLaport を訪問したところ、Movement Fest という室内イベントが開催されており、大勢の参加者や見学者が集まって歓声や拍手が響き渡っていました。



また、LaLaport の屋上にはデジタルアートで有名な「チームラボ」がオブジェを出品されていました。こちらの出展には当社も日本からオブジェを輸送する際にサポートさせていただきました。ぜひこちらの動画もご覧ください。

動画再生はこちらから https://youtu.be/b3rA1mL_RmQ



コロナ禍の影響のため当初の予定よりもテナントの出店が遅れており、まだ準備中のテナントも散見されますが、このようなイベントや展示を積極的に行っており、集客を強化する狙いがあるものと見られます。

日本をテーマとした「Tokyo Town」がオープン

ちょうど1年前となる2021年12月にオープンしたBukit JalilのPavilionショッピングモールには、10月に日本をテーマとした「Tokyo Town」がオープンしました。日本の工芸品、お土産、ファッションなど多様な商品が人々の足を止めていました。

(HPはこちらから👉 <https://www.pavilion-bukitjalil.com/tokyo-town>)

もともと日本への旅行者が増えていたマレーシアなので、やはり日本への関心度は高いものと見られます。日本への旅行を心待ちにしている消費者も多いことでしょう。



日本政府観光局（JNTO）が発表した2022年10月の訪日者数統計（推計値）によると、マレーシアからの訪日者数は8,800人でした。前年同月から37.1倍、前月から2.9倍となりました。ANAやJALなど日系エアラインは日本との直行便を増便し、エアアジアも直行便のフライトも再開しました。いよいよインバウンド旅行も復活する兆しが見えてきています。

11月中には当社にも多くの日本からのお客様がクアラルンプールの視察などで来馬いただきました。クアラルンプール視察の際にはぜひ当社にもお立寄りください。

(文責：TK International Sdn Bhd 阿部 慎吾)